

町内探検隊

町内会長の豊田さんと元町内会長の池田さんに、まちを紹介してもらいます。

◆大行日吉法印

西別所町は、市の東に位置し、田畑に囲まれた自然豊かなまちです。まちの中には、三河万歳の発祥の地として、「大行日吉法印」のお墓とお堂があります。大行日吉法印は、徳川家康から「万歳をして各地を回ってよい」とお墨付き



大行日吉法印の墓前にて
豊田さん(右)と池田さん



子供達による三河万歳

の書状をもらい、武士や町民の心を和ませる踊りとして、三河万歳を広めたそうです。毎年5月に、子どもたちが三河万歳を披露し、まちの皆さんを楽しませています。

◆安全・安心・ふれあい

町内会では、安全・安心・ふれあいのある明るいまちづくりを目指して、防犯パトロールや防災訓練・子ども地蔵まつりなど、多くの活動をしています。小学生の登校時には、交通安全立ち番をして

今月の舞台

にしべっししょう 西別所町

います。午前7時15分から30分間、まちの人が通学路に立って、子どもたちにあいさつをします。最初はあいさつできなかった子が、次第にあいさつを返してくれるようになったり、立ち番を休む人がいると、「今日、元気のいいおじさんどうしたの?」と聞かれたりすると、うれしくなります。

これからも、まちの子どもをみんなで守っていきたいです。



わたしの望遠郷

私の故郷は、山形県米沢市です。夏の暑さ・冬の寒さがとても厳しい典型的な盆地気候で、四季折々の景観が楽しめる田園都市でもあります。

市内には、3年前放送された大河ドラマ「天地人」のロケ地になった、上杉神社があります。上杉神社周辺では、5月に米沢上杉まつり、2月に上杉雪灯籠まつりがあり、県外からも多くの観光客が訪れます。

食べ物では、米沢牛があります。地元の人でもなかなか手が出せない高価なものですが、米沢駅で販売されている米沢牛の駅弁は、手頃な価格で食べられ



ます。ほかにも、古くからラーメンの街として食文化を形成していて、市内の各所にラーメン店があります。

幼い頃の思い出は、何といっても冬の大雪です。近年、降雪量は減っていますが、私が小学生の頃は、一晩で1メートル近く積もることも珍しくありませんでした。毎日早起きして玄関前の雪を片付け、夏期の倍くらいの時間をかけて、吹雪の中を登校したものです。校庭は3月末まで雪に埋もれているため、その間はスキーなどで体力作りに励みました。

米沢市は、東日本大震災の放射能問題により、避難を余儀なくされた福

よねざわ 山形県米沢市

島県の皆さんを積極的に受け入れているそうです。米沢市自体も、原発から遠くない場所に位置しているため、農産物の風評被害に直面しています。まちでは、失われた故郷を1日でも早く取り戻そうと、復興に向けての取り組みが進んでいます。

遠いところですが、訪れる機会があれば楽しんでください。

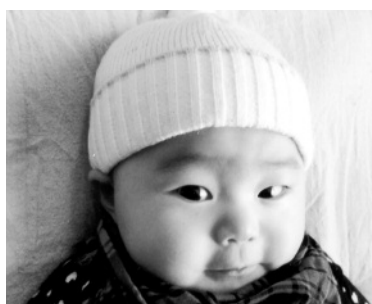
赤間穰さん(住吉町)



雪灯籠まつり

元気っ子アルバム

鈴木月佳ちゃん(7カ月)



歌が大好きな月佳です。泣いていてもパパとママが歌い出すと、笑顔になっちゃうよ。早く大きくなって一緒に歌いたいな。
お父さん：拓也さん
お母さん：佳世さん (野寺町)



鈴木健太くん(8カ月)

父ちゃんとお風呂に入るのが大好きです。寒い冬は、心も体もポッカポカ。お風呂あがりの一杯?は最高においしいです。
お父さん：健治さん
お母さん：美喜さん (桜井町)

平田しずくちゃん(4歳) 敦寛くん(1歳)



初めまして敦寛です!お姉ちゃんのまねをして遊ぶのが大好きです。お姉ちゃんとなら、歯みがきだって楽しいよ!
お父さん：寛之さん
お母さん：明美さん (東栄町)

「わたしの望遠郷」、「ほっとタイ夢」、「元気っ子アルバム」コーナーでは、市民の皆さんからの投稿をお待ちしています。詳しくは、電話で秘書課広報広聴係(☎71)2202)へ。掲載者には記念品を差し上げます。
わたしの望遠郷→以前に住んでいたふるさとの思い出を紹介 ほっとタイ夢→夢や、ほっとする話を紹介

ほっとタイ夢

夢は支援した子が自信をつけ、挑戦していくこと

太田佳織さん(赤松町)

今、市内には外国籍の子どもがたくさんいます。その中で、日本語をある程度話せても、日本語の理解が足りず、教科書の内容が分からない子どもが多くいるのです。私は、



やさしい日本語の教材を使っている

そんな子どもたちが学校の授業についていけるように、日本語を教えるボランティアをしています。

教室では、子どもに合わせて、内容を考えます。日本語がやさしく書いてある教材を使ったり、学校の宿題を手伝ったりします。時には、子どもが飽きないように、かるたなどを使い、日本語を楽しく覚えてもらう工夫をしています。

印象に残っているのは、漢字が苦手な子が、「挨拶」と書いた紙をくれたことです。一生懸命この字を書いてくれたことを思うと、温かい気持ちになります。

子どもがいろいろな大人と接すると、たくさんの言葉を覚え、

考え方に幅が出ます。日本語の学習支援が必要な子がいることを多くの人に知ってもらいたいです。

夢は、教えた子たちが日本語を理解し、自信をつけることで、将来、いろいろなことに挑戦していけること。

幸せな人生を歩んでいく応援をしています。



かるたを楽しむ子どもたち